



フィールド サービス ニュース

富士重工業株式会社

本社：東京都新宿区
西新宿1-7-2
(スバルビル)

NO. FAN-047

発行 51年2月20日

—FA-200用燃料タンク補給口キャップの改修（水浸入防止）について—

FA-200に使用されている燃料タンク補給口キャップは、タンクを密閉するキャップ本体と開閉ハンドル及びハンドルに固定されたカバープレートより構成されています。

雨中に機体が置かれている場合、カバープレートとキャップ本体との隙間から浸入した雨水がキャップ本体に留る事が、不用意にキャップを持ち上げると、キャップ本体の中に留っていた雨水がタンク内にこぼれ落ちる事があります。

これはキャップの取扱いに注意を払えば避けられることですが、下記の改修を実施する事に依りキャップ本体への雨水浸入を防止出来ますので御紹介致します。

改修要領

1. 必要部品

NO	部品番号	部品名称	1機当個数	備考
1	200-921008-005	GASKET	1	
2	200-921008-007	SLIP PLATE	1	
3	AN960-PD816L又は AN960-D816L	WASHER	1	
4	EC-847	CEMENT	AR	
5	MS24665-349又は AN380-4-2	COTTER PIN	1	

FAN-047

PAGE 1 OF 2

2. 改修要領

- (1) 図-1 に於いて、燃料タンク・キャップのシャフト部コッターピンを抜き取りハンドルに固定されたカバープレートとキャップ本体を分離する。
- (2) カバープレート内面をアルコールにて洗浄し、接着剤 (EC-847) にてこの面に、200-921008-007 スリップ・プレート、及び200-921008-005 ガasketを取付ける。(図-1)
- (3) カバープレートとキャップ本体を組立てる。この時、シャフト図示個所にAN960-PD816L又はAN960-D816Lワッシャーを1ヶ追加する。
- (4) 新しいコッターピン (AN380-4-2) をチェーンと共に取付ける。

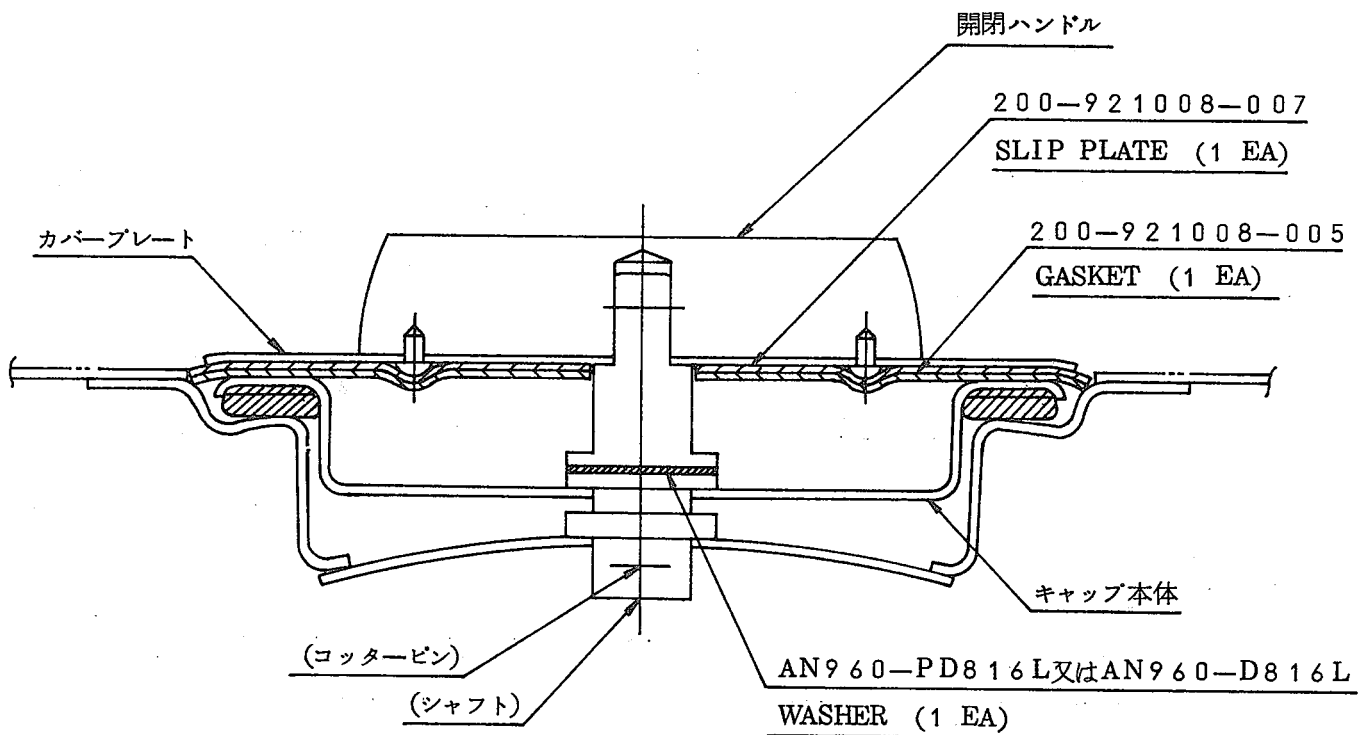


図-1 燃料タンク・キャップ改修要領図